

## 【講師の先生による指導講評】

元品川区立中延小学校長  
東京都特別支援教室巡回訪問心理士  
品川区保育施設運営課巡回訪問心理士  
学校心理士SV

重松 清文 先生 先生

- ・全体として、困ったことをすぐに先生に相談できる教室環境になっていたところがよかった。例えば、「先生、これはどうですか。」「終わりの言葉は入れますか。」等、積極的に質問をしている場面が見られるなど、先生と対話しながら授業を進めることができていた。
- ・今回の単元は、移動教室の実体験をもとに、絵日記という形式で書き表す活動であった。体験した3日間の日程を掲示したり、活動場面の写真を手元に置いたりするなどの視覚的支援は特に効果的であった。

## 【研究の成果】

- 実際に体験したことについて書くという本単元は、児童が意欲をもって取り組むことにつながっていた。写真の活用等は、特に有効な視覚的支援であった。
- 句読点やかきかっこについての確認、「5W1H」の視点、文章構成の見本の例示等、国語として学ぶべき内容の指導がありよかった。

## 【研究授業の様子】

